

# FADO

# 5

Janeiro 1995

月田秀子ファド倶楽部

## TSUQUIDA HIDEKO FADO CLUBE JORNAL

わたしは歌う  
月に照らされた夜道を歩きながら  
小石の一つ一つの音を足の裏に感じながら

わたしは歌う  
月のない夜  
闇に打ち震えながら  
返るこだまがわたしを呼ぶだろう

わたしは歌う  
沈んだ太陽が焦がす空の薄暮のしとねに  
折れそうにけなげな眉月がよこたわる夕べに

わたしは歌う  
満月の夜  
大地に落ちた木の影が  
かすかにゆれて わたしのギターを濡らすだろう

「歌うことに意味がないとしても  
歌わないことに意味があるのだろうか  
最初の朝に歌わなかったとしても  
最後の朝にわたしは歌おう  
最さがし求める事のすべてにその歌がある  
すべての歌は出会いの歌  
わたしは歌う。うたう……」\*

わたしは歌う  
うれしくても歌う  
かなしくても歌う

\*メネス編曲(ブラジルのシンガー-ソングライター)「自由の歌」より

リサイタルホールでのコンサート、NHKにんげんマップ出演とあわただしく年も暮れ、新しい年を迎えました。「最近、涙もろくなった」という友人に、「年のせいよ」なんて答えましたが、人の痛みが、喜びが、まがりなりにも感じられる年になったのかも知れません。

今年は、大阪以外での地でも歌う場が増えたらナと思っています。

キリシタン殉教の地・天草、長崎をはじめ、ポルトガル宣教師ルイス・アルメイダが創設した日本で初めての西洋医学の病院・大分、鉄砲伝来の島・種子島、どんなところでも・・・

人々がつましく、たくましく生きている地で歌いたい。たくさんの人たちと出会いたい。どのようにしたらそれが可能なか、わからないのが問題ですが・・・。いい案あったら知らせて下さい。

1月29日(日)に大阪大国町の「さかふね」でセサル・ラ・トーレのフォルクローレとファドの「二つF」と題したコンサートを行います。12月に彼と、高野山の手前のアマノというところで、冬景色の山のなか、小さなジョイントコンサートを、会員の畑さんのご好意を得て開催、好評を得ました。山の木々、小鳥達、地元の人達と溶け合うことのできたささやかな時でした。2月28日に日本を去り、ペルーへ向かうセサルの願いを叶えてあげたいとの気持ちで、今回のコンサートを急ぎよ企画しました。「今までは自分の家族の為に、日本で歌を歌いお金を持って帰ったけれど、今回はペルーの人達へ古着を持ち帰りたと思う。」という彼の、たどたどしい日本語でいろりをかこんだ酒宴の席でもらした一言に、なんとかして答えてあげたいと思うのです。そんなわけで、当日は一人一着、大人物でも子供物でも着古したTシャツ・セーター等、タンスの奥に眠っている衣類をご持参下さいませお願い致します。遠方であらっしやられない方は、ファド倶楽部宛お送りいただければ嬉しく思います。

皆様にとって素晴らしい一年になりますように・・・

1995年1月

月田秀子

## やわらかな響きの中の私

明るくもなく暗すぎもしない空間、トーンの整った光の帯の先に、あなたがいる。緊張を求める「さながら神の」の第一音のあとに訪れるのは、吸い込まれるようなこの感覚だ。“人生が私にくれた”目と耳が、手と足が、脳や内臓が、一斉にあなたのそばにかけ寄ろうとする。私には今、あなたの声しか聞こえない。恐ろしいまでの集中力、ありきたりの日常の中では到底感じ得ない、この独特の心の動きは何なのか。身体の震えは何なのか。一体この感覚はどこから来て、どこへ行くのか。共にうたい、共に語る私がいる。思いを重ね、生きている一瞬一瞬をつなぎ合わせ祈っている、私がいる。

光は注ぎ、あなたの声は昇っていく。宙に弧を描き、消え入りそうに消えない不思議な響き、音の言葉。やわらかに調和するこの音律の美しさに、私はいつまでも身を横たえていたいと思う。

あなたはおそらくこれからも、私たちに確かな感触を教えてくれるだろう。偽りのない言葉、偽りのない響き、そのはっきりとした大胆な風貌からは想像もつかない小さな手でギターをつまびき、人々の祈りや嘆き、言葉にならない思いを語り続けてくれるだろう。あのだとどしい指の運び、それはあなたの生きてきた何万時間もの歩みに似ている。決して器用ではないが、それが確実に、人々の精神の財産となっているのを、私は感じることができる。心の糧となっているのを、私は信じていることができる。

人生よ、ありがとう。本当にありがとう。こんなにもいい時間を私にくれて。あなたと共にいる時間、それを私は、やさしさとやわらかさに満ちた、珠玉の時と呼ぶことにしよう。(M)

## 僕の大切な女友たち

妻をこよなく愛し、家庭を人一倍大切にす僕にも、女友たちはけっこういる。そして、彼女たちに対して、かみさんの目は冷やかだ。

シャンソン歌手のP子には「あれでプロなの？あんなになら、わたしでも」。お世話になりました、とお歳暮を届けてきたりするタップのダンサーのQ子には、「いったい、どんなお世話をしているの？」。また、もの書きのR子には「わたしは嫌いよ、あの女」と、にべもない。

ところが、月田秀子に対しては（月田秀子が僕のことを男友だちとってくれているかどうかは別として）かみさんの反応は全くちがう。

「いいわねえ、月田秀子さんって。聴きにきてよかったわねえ」

姿形、もちろん声のどれをとっても、超一級のいい女である月田秀子に亭主が入れ込んでいるのだから、当然、嫉妬してもいいはずなのに、かみさんはそれをしない。

思うに月田秀子には、人間の低俗な嫉妬心なぞは吹き飛ばしてしまうような、純粹というか、崇高というか、あるいは健気というか、そんなものが備わっているのである。おかげで僕は、かみさんのやきもちから逃れて、月田秀子の男友だちなんだぞ、と自負していることができる。

ついでに「自負」をもうひとつ。「月田秀子ファド倶楽部」の関東地区の責任者である、と僕は自負している。だけど、こちらのほうは残念なことに、月田秀子はなかなか関東にまで足を運んでくれない。「ファド・ジャーナル」誌の〈月田秀子のスケジュール〉をむなしくながめるばかりだ。これはもちろん、僕ら関東に住んでいる者の力不足、努力不足が最大の原因で、ただただ申し訳ないばかり。

倶楽部事務局の所在地「高津」には、僕の育った高津高校がある。ファド、つまり「運命」で結ばれた赤い糸を、今年はずっとずっと関東に引き寄せねば、と思っている。(岩城 元)

僕たちも共に歌った

よかった！ たいへん意欲的なステージで感激しました。ファドに始まって、ボサノバあり、アルゼンチン風フォルクローレあり、アコーディオンが入るとシャンソン風に聞こえるのあり、そして最後はファドでしめくったプログラム構成はよかったと思います。しかも、どのジャンルを聴いても、結局は月田さんの芸術になっていました。

うすいブルーグレーのドレスは素敵でした。

帽子をかぶっての弾き語りは、月田さんではなく、月田さんが、アルゼンチンかブラジルから連れてきた別人かと、最初の1分は思いました。私の席は、かなり後ろの0-32でした。あなたはチケットが売れ残っていることを心配しておられましたが、0列からは最後列まで見渡すことができ、びっしり満席でした。いちばん後ろで立っておられる方を5~6人見ました。ご盛況で何よりでした。このリサイタルでまたファンが増えることでしょう。

バックもよかった。普通、アコースティック・ギター2本程度にベースが1本入っても、とってつけたようで効果が出ないものですが、岩田氏のベースは二人のギターに完全に溶け込んで、見事なトリオになっていました。アルコもグリッサンドも音程がしっかりしていましたし、私が何回か聴いた月田さんの『暗いはしけ』の中で昨夜のがいちばんよかったのは、きっと岩田氏がたたいたベースのリズムがよかったからです。月田さんや池忠さん（注；ギターの池側忠さん）が相当、音作りに努力されたのだと思います。それにしても池忠さんは大した才能の持ち主ですね。佐野さんが普通のギターに持ちかえて、池忠さんがリードをとったのが2~3曲ありましたね。うまいと思いました。ブルースも弾けるんですね。

2時間以上も歌ってアンコールのとき、あなたが「実はもうちょっと歌いたかったんです」と言われた時には、隣席の友人二人と「まいった、まいった」と言いました。

このあいだ、辰吉と薬師寺のエキサイティングなボクシングを見て、興奮して寝られず夜中に外へ出て走った……という人がいましたが、われわれ三人は、帰り新地の入り口にある『醍醐』という小料理屋に入って、「自分が歌ったみたいな気になって、腹減った……」などと言いながら、カンパンまで飲んでいました。あなたにもお酒をお送りします。お疲れさまでした。

本当に、よい音楽をありがとう。

(S)

## \*お知らせ\*

昨年11月11日の池田市民会館でのライブVHSビデオ（3500円）、昨年12月7日の大阪リサイタルホールでのカセットテープ（2000円）ができました。

CD「月田秀子ジャンジャンライブ」増盤分、1月下旬に出来上がります。

ご希望の方は「月田秀子ファド倶楽部」まで、同封の郵便振替用紙にてお申し込み下さい。

95年度分会費3000円（94.9~95.8）未納の方はこの機会に納入下さい。

## \*『月田秀子ファド倶楽部』入会のご案内\*

- 申し込みの方法：郵便振替でお願いします。
- 口座番号：00990-6-18440
- 加入者名：月田秀子ファド倶楽部
- 会費：入会金/2,000円 年会費/3,000円



# informação

## <月田秀子のスケジュール>

- ★毎週木曜日 1月5、12、19、26日  
2月2、9、16、23日  
心齋橋「麓鳴館」☎06-241-9219  
①7:30 ②9:00  
ライブチャージ:2000円  
ギターの池側忠さんとの息の合った生音ライブ。
- 1月27日(金) 京都/四条河原町・シャンソニエ「巴里野郎」  
☎075-361-3535  
ピアノ:河村真千子 ギター:池側忠
- 1月28日(土) 大阪/守口・ジャズ喫茶「セレンゲティ」  
☎06-991-7854 \*要予約  
ギター:池側忠
- 1月29日(日) 大阪/大国町・「さかふね」  
「二つのF (FADO&FOLKLORE)コンサート」  
☎06-649-3659 \*要予約  
フォルクローレ(Vo. ギター・ケーナ):セサル・ラ・トーレ  
ギター:池側忠  
開場/2:00 開演/2:30 会費/5000円  
\*予約申し込み先「月田秀子ファド倶楽部」☎06-645-4717まで。
- 1月30日(月) 大阪/心齋橋・「アートクラブ」  
☎06-253-0827  
ポルトガルギター:佐野健二 ギター:池側忠  
①8:00~3回ステージ(入れ替えなし)  
チャージ:3500円(オードブル付き)ドリンク:500円~
- 2月4日(土) 徳山/「BAR」  
☎0834-31-9308 \*要予約
- 2月13日(月) 大阪/上六・「アッコルド」  
☎06-773-3110  
アコーディオン:吉川肇 ギター:池側忠  
①7:30~3回ステージ(入れ替えなし)
- 2月15日(水) 大阪/心齋橋・「アートクラブ」9周年記念スペシャルライブ  
☎06-253-0827 \*要予約  
ピアノ:大塚喜章/ベース:神田芳朗/ギター:池田定男
- 2月24日(金) 京都/四条河原町・シャンソニエ「巴里野郎」  
☎075-361-3535  
ピアノ:河村真千子 ギター:池側忠
- 2月27日(月) 大阪/心齋橋・「アートクラブ」  
☎06-253-0827  
ポルトガルギター:佐野健二 ギター:池側忠  
①8:00~3回ステージ(入れ替えなし)

■編集後記 謹賀新年。今号は、12月7日開催のコンサート特集として、当倶楽部へ寄せられたお手紙の中から何通かをご紹介します。好評の「月田秀子エピソード帳」はお休みさせていただきます。悪しからず。

NHK「にんげんマップ」。月田の人となりがよく出ていて大好評。これが、月田の今後の活動にどうかされるのか楽しみです。

### ●会報制作スタッフ募集

男女は問いませんが、ワープロが打てれば最高です。

### ●会報の原稿募集!

ファド関係以外にも、テーマは自由。ご送付は事務局まで。

編集・発行 「月田秀子ファド倶楽部」事務局  
〒542 大阪市中央区高津3-14-8-1001  
TEL. FAX. 06-645-4717